

臨床研究のご案内(採血データおよび検体利用のお願い)

当院では、以下の臨床研究を実施しています。狭心症心筋梗塞や脳梗塞などの動脈硬化による病気には脂質異常症が関係しています。現在、この脂質異常症で上昇する血液測定項目であるアポB-48濃度が冠動脈疾患(冠動脈狭窄)との相関があることがわかっています。

今回、このアポB-48濃度に関する検討は神戸大学及び大阪大学ですでになされていますが、この臨床データをとりまとめて統合解析を行っています。ただ、検討に必要な症例が不足する可能性があり、この不足分を補うために追加検討が可能な場合があります。そこで、当院循環器外来で診療のために採血された方を対象に、検体の残り(捨てる部分)および診療で得られたデータを個人情報を削除した上でいただき、統合解析を進めることとしました。

私たちは可能な限り皆様のご協力を得たいと思っております。ご質問がある場合、またはこの登録事業に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。但し、すでに解析を終了している場合等 本データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】 冠動脈疾患スクリーニングマーカーとしてのアポリポ蛋白B-48濃度の多施設データによる検討

【責任者】 病院長 山下静也

【利用し、または提供する試料・情報の項目】 診断名、年齢・性別、既往歴、服薬内容、採血結果、画像評価内容および残余血清(採血で測定後破棄予定の残った血清、アポB-48濃度を測定)

【試料・情報の利用目的及び利用方法】 上記の項目データを大阪大学、神戸大学での同様の測定データと合わせて統合解析を行いアポB-48濃度測定の有用性を検討します。また、その結果は個人が特定されないように匿名化されたのち、富士レビオ株式会社による診断薬開発の薬事申請に用いられます。

【対象となる方】 当院循環器内科外来を受診され診療の一環として採血をされた方

【研究成果の公表について】 学会発表、学術雑誌などで公表

【研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止すること】 希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、本研究に関する研究計画書等をご覧することができます。また、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止することが可能です。以下の連絡先にご相談ください。

【外部機関への研究データの提供】 ありません

【利益相反】 富士レビオ株式会社との共同研究契約に基づいて測定は無償提供されます。患者さん自身への報酬等はありません。

【個人情報の取り扱い】お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用致します。研究にあたっては、個人を安易に同定できる情報は削除し、関わりのない記述等に置き換える等の処理を行い使用します。

【問合わせ等の連絡先】 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター循環器内科部長
増田大作 電話番号:072-469-3111(代表)